

ひめだ高宏ニュース

No.732

'06.8.22

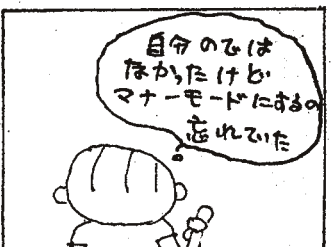
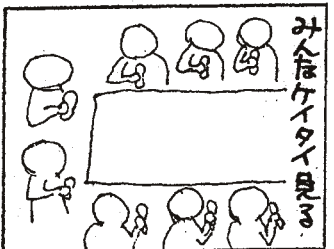
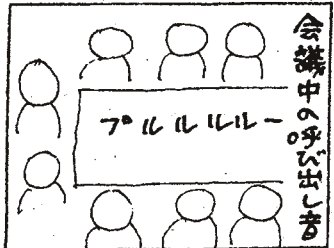
さわやかな感動ありがとう

夏の甲子園は、早稲田実業(西東京)の初優勝で終わりました。カのコもった投手戦は、延長15回引かれた再試合というものでしたが、三連覇ができたかったものの駒大苫小牧(南北海道)の田中投手の試合後の笑顔が力を出しました。さわやかな感動に感動しました。今大会は智弁和歌山に象徴される終盤の大逆転が多く、最後まであきらめない闘争心も見習うべきところがありました。

困ったときはいつでも日本共産党の生活相談

「日本共産党と何の関係もないのに相談して良かったのか」という問いあゆせがありました。困ったときいつでも誰でも相談してもらうのは、日本共産党の仕事です。答えましたか。か、てもうえたでしょうか。

フリーの人々



新ことが専断
他人の呼び出し音
自分のケイタイをチェックせよ
(人の振り見て
我が振り直せ)

私ひめだのお気軽に「ご相談ください」

日本共産党規約第2条に「党は、創立以来「国民が主人公」の信条に立ち、つねに国民の切実な利益の実現と社会進歩の促進のためにたかひ、日本社会のためか、で不屈の先進的な役割をはたすことを、自らの責務として自覚している」と、第44条「党の地方議員および地方議員団は、第43条の国会議員団の活動に準じて地方住民の利益と福祉のために活動する」と定められています。

こんにちは
議員の
ふじい健太郎
です。
(その161)

私、ひめだの携帯電話は、24時間体制で(私自身は寝ている間も)みなさんの相談を待っていますので、お気軽にご相談ください。

残暑厳しき折ですが、いかがお過ごしでしょうか。セミの鳴き声もツクツクボウシに代わり夏の終わりを感ぜさせます。9月県議会は9月6日に議会運営委員会が開かれ、13日に開会する予定です。10月からは高齢者医療制度で窓口の割負担の人は3割負担に、入院して長期療養をつづけている人の食事代や部屋代が自己負担になるなど改悪高齢者医療制度が始まります。また、障害者福祉でも聞き取り調査による障害程度区分の新たな判定などにより受けられる福祉サービスが制限される場合も出てきます。

昨年10月から始まった介護保険施設での食事代と部屋代の全額自己負担の問題、今年4月からの障害者自立支援法での/割負担の問題など、自民・公明がすすめた社会保障改悪や増税による県民生活への影響を明らかにし、改善を求めている。議会にもなっています。



ふじい健太郎
県会議員

つい最近二人は
相談がありました

琴の浦の私道の舗装

先日、雑賀光夫県会議員（日本共産党・海南選挙区）と一緒に琴の浦の後援会員宅を訪ねた時に、私道の舗装について相談を受けました。

その時は、選挙もありバタバタしていましたが、後日、市の道路保全課に聞きますと、道路の所有者の承諾と工事箇所周辺の家から工事の同意書を取って、

自治会が、代表者が申請すれば舗装してくれるとの説明で、所有者の同意の範囲

夏期・選挙募金ありがとうございました

先週の「ひめたニュース」で、日本共産党への夏期募金を訴えたところ、さつとく募金を寄せていただきました。選挙の時の募金していただいた方もあわせてこの場でお礼を申しあげま

ま市が指定するので公園が必要とのこと、そのおね雑賀県議に伝えました。みなさんも何でも相談してください。

す。ありがとうございました。とはいえ、まだ目標金額に足りませんので、図々しいお願いですが、ひまっづまご協力をよろしくお願いいたします。

こどもたちは 日本共産党



「面校に優勝旗をあげたいくらいの名勝負だった」。日本共産党の市田忠義書記局長は21日の会見で、駒大苫小牧と早稲田実業の決勝再試合に、

水でこう語りました。「平和でこそ野球ができるという感を今日のゲームを見ながら思った」とも。

アジア・太平洋戦争で命を亡くしたプロ・社会人野球の選手は百数十人います。沢村栄治投手（1917〜1944）は3度の召集をうけ、親友に「おれは2度と戦争に行きたくない」と述べました。

と語り、乗っていた輸送船が台湾沖で沈められ戦死しました。

市田書記局長はこうしてエピソードを紹介しながら、「憲法9条にはそういう形で命を失った人たちの、再び戦争をしたくない、という熱い思いが凝縮されていると思う」と述べました。

住民の過半数を集結し
憲法9条を守ろう
和歌山市「9条センター」結成のご案内
9月16日 13:30~
勤労者総合センター5階
(市役所西側寄り)
記念講演 坂本大博氏
(憲法9条を守るわかやま県民の会事務総長)
「憲法9条を守る和歌山市共同センター」(仮称) 準備会
連絡先 和歌山地区党 436-3598
・おらゆきとこに 憲法9条の会を
・憲法9条守署名をたいせう

田中忠雄先生のこと



8月22日(火)日本共産党高松支部の田中忠雄先生が亡くなりました。

田中先生は、学校を退職してから塾を開き、その田中塾は、党支部や後援会の会議にも利用されてきました。地元からの立候補ということで、立候補以後は本当にお世話になりました。初当選してからは、地域住民に見える日本共産党をということで、「高松地域新聞」の発行、全戸配布なども行ってくださいました。だから幼稚園を借りて、春、夏のお祭り、赤旗まつりでの焼き肉(特製手作りタレ)と、おにぎりの販売、栗ひろいや山菜とり、温泉めぐりなどのレクリエーションなど、日本共産党高松後援会でのたくさんの取り組みをしてくださいました。田中先生、本当にありがとうございました。